

臨床研究計画書

H27.3.27 倫理委員会提出

機関名 ナチュラルクリニック 21

研究責任者 中谷 奈恵子

目的 バチルス入浴療法の臨床効果の検証

意義

この研究によりバチルス入浴療法の効果が証明された場合、ステロイド外用をはじめとする対症療みのアトピー性皮膚炎治療に原因療法を提示する事ができ全く新しい治療概念を世界に提示できる可能性がある。

方法

- ・過去の臨床データをまとめ統計的に解析を行いたい。
- ・臨牀的变化を及ぼしている免疫変化 (Th1/Th2)
を院内研究費から測定してきましたがデータをまとめ統計的に解析を行いたい。
- ・患者皮膚の黄色ブドウ球菌の測定を行ってきたが
その経時的変化のデータをまとめ統計的に解析したい。

(上記3項目については患者さんからはインフォームドコンセントを文章で得ています。)

- ・入院治療での効果が確認できた場合、退院後の自宅療養での
状態を POEM 等のアンケートにて調査したい。
- ・